

成績評価の手引き（教官用）

1. 工学部物質工学科化学工学コースでは、下記の(A)―(I)の学習・教育目標を設定しています。

- (A) 論理的思考法を養い、少人数での討議を通じて発表する能力を身につける。
- (B) 工学基礎知識により定量的な考え方と工学の手法を学ぶ。
- (C) 化学の原理を基礎とする応用化学知識により多面に広がる化学技術と物づくりの過程が理解できる能力を身につける。
- (D) 物質とエネルギーの平衡論、速度論を基礎とする専門知識により、身の回りの現象に化学工学的な課題を発見し、その解決法に応用できる能力を身につける。
- (E) 物づくりのための実験手法に習熟し、安全及び環境にも配慮した考え方のできる能力を身につける。
- (F) 化学現象のモデリング、数値シミュレーションによる予測が可能な能力を身につける。
- (G) 要素技術、単位操作を組み合わせたプロセスシステムに対するプロセス工学知識により物づくりプロセスの設計に応用できる能力を身につける。
- (H) 技術英語を学び、英文の専門教科書を理解する能力を身につける。
- (I) 人類の持続発展可能な循環型社会の構築の視点から、化学工学技術者としての責任を自覚する能力を身につける。

2. 各科目毎に上記(A)―(I)の学習・教育目標の内のどの項目について教授するものなのかを鑑み、その項目に関する達成基準を設定して下さい。その際、シラバスに記述している内容と合致しているかどうか確認下さい。

3. 授業中に実施したレポート及びテストに関しては、必ず模範解答を学生に知らせて下さい。出来れば科目のホームページを作成し、シラバスと模範解答を掲示し、受講学生に公開して下さい。

4. 授業中に実施したレポート及びテストに関しては、主要な部分をコピーなどで保存して下さい。評価については、本人に伝えると共に、理解不足の点を指導して下さい。

以上